

講義名	中小商業論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	向山 雅夫		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 3時限		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	43105

主題と概要

「中小商業が流通において果たす役割」について理解することが本講義のテーマである。

人々の目は華やかな大規模小売業に向きがちであるが、実は中小小売業は独自の世界を作っており、その存在は極めて重要である。また中小小売業から大規模小売業への成長の可能性もある。商業の世界は奥深いことに気づいてもらう。

到達目標

以下の点について能力を高めること。

1. 流通の仕組みについて理解する
2. 中小商業の存在意義を知る
3. データが意味するものを読み取る
4. 現実から情報を読み取る力を養う

提出課題

現地取材型の調査レポートを、中間レポートとして実施する
 中小商業についての副読本を一冊指定し、その内容に関するレポートを実施する
 グループ研究のプレゼン会を実施する

評価の基準

最終試験、各種レポート、講義中の発言の程度、各得点をもとに評価する。
 ただし、レポートは通常よく実施される形式だけではなく、多様な形式で実施する。
 また、出席者との双方向のやり取りを取り入れた講義を実施するので、それに貢献した出席者には高い評価が与えられる。詳しい仕組みは、講義初回に詳細に説明する。

履修にあたっての注意・助言他

本講義は実験的な初の試みで実施されるので、必ず以下の注意事項を詳細に読んでから、履修すること！！
 本講義を履修する学生は、15回全部出席しなければならないし、ただ毎週座っているだけでは単位取得できない
 履修可能人数を50名に限定する
 学生が座席のまま移動可能な教室（3306予定）を用い、輪になって受講する
 各学生の氏名を書いたネームプレートを毎回着用し、S Aが学生の発言度をチェックする（学生の氏名と顔を教員が把握した状況下で講義する）
 受講者をチーム分けし、グループ研究を講義中に実施する
 受講者には、第3回目の講義日までに自主的に学外の商店街を見学に行ってもらおう
 外部から専門家の講師を招聘する（2回程度）
 スマホの電源を切ってもらおう

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

参考文献
 ・渡辺幸男・小川正博・黒瀬直宏・向山雅夫、『21世紀中小企業論（第3版）』、有斐閣アルマ、2013年
 ・加藤司・石原武政（編著）、『地域商業の競争構造』、中央経済社、2009年

授業計画

回数	授 業 計 画
9月27日	ガイダンス&中小商業は必要か？
10月4日	中小商業の基礎理論（1）
10月11日	中小商業の基礎理論（2）
10月18日	講義テーマの決定（全体ディスカッション）
10月25日	講義テーマ1についての講義
11月1日	講義テーマ2についての講義
11月8日	講義テーマ3についての講義
11月15日	講義テーマ4についての講義とグループ分け
11月22日	各自に割り当てられたテーマについての自主調査日
11月29日	グループ・ディスカッション
12月6日	グループ・プレゼン（4グループ）
12月13日	中小商業の起業
12月20日	中小商業の活性化
1月10日	中間レポート報告会
1月17日	まとめ（予備日）

なお上記計画は後期開始時までには少々変更される可能性がある。最終的な計画は、後期開始時に提示する。

予習・復習

予習：本講義の内容に関連する参考文献を副読本として各自で自由に読破し、講義内容の理解を容易にする努力をしてほしい。

復習：数回実施するレポート課題に取り組むことで、講義内容をより深く理解してもらいたい。

備考

本年度の講義は、これまでのこの講義と内容を一新し、また講義スタイルやレポート形式・単位取得方法についても、大きく変更している。狙いは、学びたい学生に真剣に講義に取り組んでもらうための新たなチャレンジをすること、である。よって、出席する学生には正しい「学びの姿勢」を強く求める。